

なっとくできる 自分の表現

図工だより 12月

2023年12月25日(月)
町田市立南第一小学校
図工だより No. 2
校長 安東 深雪
図工専科 城重 奈都子

2学期も、様々な制作活動を行い、楽しく充実した時間になりました。運動会後からは、新しい道具に挑戦しながら活動しました。材料や用具のご準備、絵の具の付いた洋服のお洗濯等もご協力いただき、ありがとうございました。3学期も図工の教育活動に、ご理解、ご協力よろしくお願いたします。

5年生 武蔵野美術大学との連携授業を行いました

武蔵野美術大学と連携し、5年生全員で「鑑賞」の授業を行いました。本物の絵画作品5点を体育館に並べ、2時間をかけて様々な見方を楽しみました。今回、一緒に鑑賞するのは豪華な面々。鑑賞教育の専門家である杉浦幸子先生、絵画作品の作者の水上泰財先生、全盲の美術鑑賞者として活動する白鳥建二さん。さらに、サポーターとして博物館や美術館、他の学校の教員などが参加してくださいました。



【児童の感想】

●人と話しながら絵を見て楽しかった。友達や先生と話合って、一緒に考えることができ、うれしかった。

●素晴らしい絵があって、それを見て、みんなそれぞれの意見の感じ方も違って、人間っていいなと思った。

●水上先生に「こんな気持ちでつくったよ」と教えてもらった時、パズルのピースが繋がったように感じて楽しかった。

●美術館に行ったことがなくて、絵を2時間も見るのは長いと思っていたけれど、最後はもっと時間がほしいと思うほど楽しかった。

●自分を見つめて、どんな作品が好きか、自分の体験に照らし合わせて考えることができた。絵を見てもっと自分のことが知れた。

●目が見えないのに絵を鑑賞するなんて、びっくりしたけれど、みんなが言っていることで白鳥さんがどう想像しているのか考えるとおもしろかった。

●自分の新しい課題が見つかった気がする。次は美術館に行ってみたい。

気付いたことや思ったことを自分なりの見方で伝え合うこと、様々な先生と見ることで見る視点が変わることや体感したようです。絵を見ることは、少し難しく感じられるかもしれませんが、感じ方に正解があるわけではありません。見て、感じたことを伝え合うこと、また絵の作者や目が見えない方と一緒に見るという経験は、子どもたちにとって楽しい時間になったようです。今後の表現や鑑賞活動に生かしてもらいたいです。

*ご不明な点などございましたら、担任もしくは図工専科 城重までご連絡ください。

【2学期の図工の時間より】

4年生 「森の大工さん」

足で材木を押さえてのこぎりで切りました。初めは、まっすぐ切ることが難しかったようですが、だんだんコツをつかみ、気に入ったパーツを切り出すことができました。切った木の組み合わせ方を考えて、釘やボンドを使って組み立てました。決まった角材以外に必要な材料は校庭に探しに行き、枝や葉なども生かされたすてきな世界ができました。建物や公園、遊び場など、行ってみたい場所ばかりです。



5年生 「糸のこドライブ」

初めて使う電動糸のこぎり。4年生まで使っていたのこぎりとは違い、曲線を自由に切ることができる道具です。手の動かし方やスピード、力の入れ具合を調整しながら、板を様々な形に切ることができました。技の上達とともにできた形を生かして、思い付いたものにつくり変えました。



6年生 「願いをつめこんで」

自分は何が得意なんだろう？何をやってみたい？どんな自分になりたい？職業にとどまらず、広い意味での「夢」や「願い」を自分でつくった箱（舞台）の中に詰め込みました。〇〇として働きたい！△△に行ってみてみたい！◇◇の選手として記録を残したい！好きな□□をこれからも続けていきたい！…未来の自分をイメージしながら作りきることができました。振り返りでは、「未来はどうかかわからないけれど、将来のことを考えられたから、つくって良かった。」という声がありました。



2学期に制作した作品は、学校に保管してあるものもあります。校内展示もしていきますので、お楽しみに。

町田市公立小中学校作品展(市内展)

町田市立の全ての小中学校が出品する作品展が、今年度も実施されます。様々な学校、学年の作品が一堂に展示されますので、ご参観ください。

2024年1月26日(金)～2月4日(日)

(1月29日(月)休館)

平日 10:00～17:00 / 土・日・祝 10:00～17:30

場所：町田市国際版画美術館

*出品者には、後日個別に連絡をします。



今回のポスターに、本校の6年児童の作品が選ばれました。各学校や公共施設等に掲示されます。ぜひ、ご覧ください。

